



全日本手打そば 早食い選手権

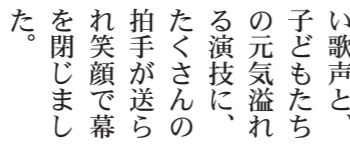


3月25日(日)、今市宿市縁ひろばで開催された全日本手打そば早食い選手権。小雪が舞う中、県内外から総勢95名が出場し、盛りそば3枚分を4分以内にいかに早く食べるかを競いました。

一般の部は24秒41の大会新記録で神山翔平さん(茨城県笠間市)が優勝。女性の部は高取英子さん(さくら市)が10連覇を達成しました。会場は家族などに向けての声援や、健闘をたたえる拍手で溢れていました。



3月25日(日)、日光総合会館で日光混声合唱団第5回コンサート。日光市日光少年少女合唱団とともに、行われました。コンサートは2部構成で、第一部「それぞれのうたごえ」では、各合唱団が、「一本の木」や「上を向いて歩こう」、「ビリーブ」などそれぞれ5曲を披露しました。第二部は、全員による合唱構成の創作ミュージカル「そうれっしやがやってきた」。



原作は同名の絵本。戦争中、各地の動物園で猛獣が次々と殺される中、東山動物園が守った2頭のゾウ。戦後、このゾウを見るために、全国の子どもたちを乗せた列車が、名古屋に向かって運行されたという実話に基づいた話です。舞台は、バイオリンやチェロなどによる演奏に合わせた、日光混声合唱団の力強い歌声と、子どもたちの元氣溢れる演技に、たくさんの拍手が送られ笑顔で幕を閉じました。

日光混声合唱団コンサート

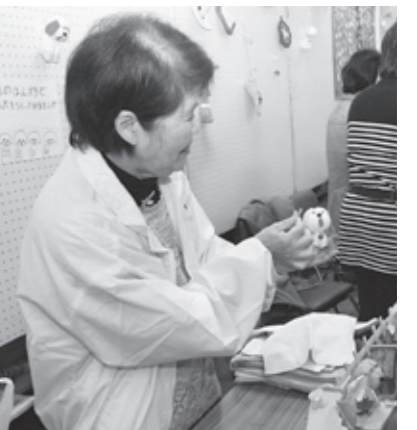
シルバー人材センターまつり



3月10日(土)・11日(日)に、生きがいセンターで、シルバー人材センターまつりが開催されました。会場ではシルバー人材センター会員作品(写真、絵画、陶芸、アートフラワーなど)や児童クラブの子どもたちの作品展示、会員生産の農産物・花苗や工芸品の即売が行われました。

その他に、そば打ち、ちびっこ餅つき、手芸などの体験コーナーがあり、盛りだくさんのお祭りでした。

ハンドタオルから子犬のぬいぐるみを作る実演を見た森友の高橋さんと齋藤さんは、「短時間で、こんなにかわいいぬいぐるみができるなんて、すばらしい。ぜひ、私たちも作ってみたいです」と話してくれました。



風の森からおくりもの

東日本大震災から1年となる3月11日(日)、大室の高霊神社で、風の音プロジェクトによる震災復興支援イベント「森の風からおくりもの」が開催されました。プロジェクト代表でイラストレーター田野井さんが、「自分たちに何かできることはないか」と、県内で活躍するアーティストやパフォーマー(写真、下)に呼び掛け、実現したこのイベント。各出演者からは、「自分たちの活動を、少しでも被災者支援につなげたい」との思いが溢れていました。また会場では、



地震発生時刻に黙とうが捧げられ、相馬市の震災孤児を支援するための募金活動も行われました。イベントの最後には、主催者の一人、高霊神社の狐塚宮司が、「震災を忘れることなく、自然と向き合って生きることを考え、そして次の世代に伝えていきたいと思います」とあいさつしました。

オーロラファンタジー

3月10日(土)〜31日(土)、湯西川温泉かまくら祭のメイン会場でオーロラファンタジーが開催されました。



音楽に合わせ、レーザー光線が夜空に描かれた、色とりどりのオーロラに観客はうっとり。神崎さん(千葉県)は、「想像より芸術的で、とてもよかった。もっと多くの人に見てもらいたいですね」と話してくれました。

AIZUマウントエクスプレス号

3月17日(土)、会津鉄道「AIZUマウントエクスプレス号」が東武日光駅に乗り入れたことを記念してセレモニーが行われました。雨の降る寒い日となりましたが、東武日光駅では、会津若松からの直通列車を日光市女将の会のメンバーなどが出迎え、記念品が配られたり、日光和楽踊りが披露されたりしました。



今月の表紙

アジアリーグアイスホッケー プレオファイナル HC 栃木日光アイスバックス準優勝

3月24日(土)に日光霧降アイスアリーナで、アジアリーグアイスホッケーの年間王者を決める「プレオファイナル」の第4戦が開催されました。ファイナルに進出した、地元の日C栃木日光アイスバックス(以下、バックス)は、3試合で1勝2敗と後がない状況。そんなバックスの力になろうと、2,000人のファンが詰め掛けました。

試合は、対戦相手の王子イーグルスに序盤から主導権を握られ、46分までに3得点を許す展開。しかし48分、49分に続けて得点したバックスは、会場の大声援を受けて猛攻を仕掛け、55分に鈴木主将の同点ゴールで追い付きました。ところが、先に得点した方が勝利となる延長戦に入ると、再び王子

